

和歌山ろうさい病院広報誌

## わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ



和歌山ろうさい病院  
副院長 谷本 敏



秋ですが、皆様には如何お過ごしですか。

最近、春と秋が短くなった気がします。夏服の後は合い服が無くて、すぐに冬服に着替えるという感じです。気候的な問題を深く調べて、科学的に証明されているかどうかは分からないのですが、感覚的には、四季というより二季という感じです。もっとも、この事を同級生の友人に話すと、春と秋どころか、1年全てが短くなっていると言われました。ジャンネーの法則（時間の心理的長さは年齢の逆数に比例すると主張したもの）というのがあって、例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどであるが、5歳の人間にとっては5分の1に相当し、50歳の人間にとっての10年間は5歳の人間にとっての1年間に当たり、5歳の人間の1日が50歳の人間の10日に当たることになるという法則です。この伝でいうと、20歳から80歳くらいまでの年月は、0歳から20歳の体感時間と同じということになるそうです。20歳で人生の半分を終えている感じになる訳です。この法則を聞いて、なぜか思い出すのが、座右の銘としている人や好きな人も多い、サミュエル・ウルマンの「青春（の詩）」という詩の冒頭の「青春とは人生のある時期ではなく、心の持ち方を言う。」という文章です。常にチャレンジして青春時代にある人にとっては、80歳になっても1年は充実していて長く、秋も長いのではないのでしょうか。

「ちいさい秋みつけた」という童謡があります。色々な事で秋を感じる今日この頃です。歌の意味とは違うのですが、自身の小さい秋というとヒガンバナを見ると幼い頃を思い出します。野辺に咲いていたのを綺麗だと思い、持って帰って怒られた記憶です。いくつかの迷信がある様です。だからどうしても秋桜より、ヒガンバナを見ると心が揺らぎます。

秋というと台風もあります。千葉の停電問題や今回の19号の被害についてニュースで報じられていますが、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。昨年の21号では、当院も半日の停電がありました。その間、産婦人科では、1人の妊婦さんが、自家発電の電気の中、無事に問題なくお産されました。しかしながら、様々な問題も浮き彫りになりました。その中に自家発電の容量の問題があります。災害に強い追加の発電装置を早い段階に備えて、災害拠点病院により相応しくなりたいと思っています。

皆様には、今後ともより一層のご指導ご支援を下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

寒暖差の激しい時期、これから寒さ厳しくなる折りですが、皆様にはお身体を大切にしてください。



日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.http://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

# 循環器内科のご紹介

循環器内科部長 林 泰

和歌山ろうさい病院循環器内科は2005年に開設されました。常勤医2名からスタートし、徐々に増員され現在は林泰、九鬼新太郎、有田祐、山本康徳の4名体制で診療に当たっております。

取り扱う疾患としましては、高血圧、虚血性心疾患、心不全、弁膜症、不整脈、大血管中血管疾患、静脈疾患等、循環器領域の疾患につきましては概ねカバーできていると思っています。



ただ当院には心臓血管外科と不整脈専門医がおりませんので、手術を要するような重症弁膜症や大動脈瘤などは心臓血管外科のある施設へ、またカテーテルアブレーションを必要とする不整脈につきましては、不整脈専門医のいる施設への紹介を行っております。

心筋梗塞や不安定狭心症などの急性冠症候群に対する緊急カテーテル治療は、24時間365日体制で救急対応し、door to balloon time 90分以内を目指して急性期治療を行っています。

閉塞性動脈硬化症の治療にも積極的に取り組んでおり、年間60件程度の血管内治療を行っています。近年の末梢血管用デバイスの進歩もあり、以前は外科手術か保存的治療しかやりようが無かったような患者様も低侵襲治療により良好な経過をたどっています。

外来診療では、初診の患者様はその日のうちに心エコーや運動負荷心電図などを行い、大まかな診断と、急を要する状態であるかどうかの判断をしたうえで、マルチスライスCTやMRI、心臓核医学検査、心臓カテーテル検査などの精密検査の予定を立てています。

最初は不定愁訴かと思われていた方が、CTをとってみるとびっくり冠動脈3枝病変ということもあつたりします。こういう患者さんを見逃さないように、常に丁寧な診療を心掛けております。

近年は高齢化が進み、90歳を超えるような高齢者でも驚くほど元気な方がたくさんおられます。当科ではご本人やご家族の希望があれば、たとえ超高齢者であっても積極的治療を心掛けており、一定の成果が得られていると実感しております。

今後も地域住民の皆様、周辺医療機関の方々に信頼していただけるように常に努力していきたいと考えています。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

## 市民公開講座のお知らせ

### 「世界糖尿病デー in 和歌山ろうさい病院 サルコペニア・フレイル ～人生100年筋量増やして健康長寿～」

開催日：令和元年11月15日（金）13：30～16：00（受付開始13：00～）

参加費・駐車料金：無料

開催場所：和歌山ろうさい病院 災害医療研修棟 1階健診センター及び4階多目的共用室

基調講演：「貯筋は大丈夫ですか？」院長 南條 輝志男

ミニレクチャー：①「糖尿病とサルコペニア～検査でわかること～」中央検査部長 谷川 直人  
②「糖尿病治療薬のウソ？ホント？」薬剤部 三宅 美有紀

## 集中治療室が増床されました

私はこの7月から当院の救急部と集中治療部で勤務させていただく事になりました。そして当院の集中治療室も、この9月に6床に増床されました。集中治療室は、入院治療の必要な患者さんの中でも、特に重症な患者さんが入院される病床です。外科治療においては、手術だけではなく術後の全身管理も非常に重要です。特に大きな手術では、術直後の患者



さんの循環、呼吸状態は不安定になりやすく、厳重に管理する必要があります。急性心筋梗塞の患者さん、脳梗塞の患者さんに対する治療もこの10年で目覚しく進歩しました。以前であれば治療を断念されていた重症の患者さんでも、救命と機能改善のため積極的にカテーテル治療が行われています。ですが重症な患者さんほど、カテーテル治療が成功しても、術後には予想外の不整脈や出血等の合併症が発生しやすく全身状態の管理が重要です。肺炎の患者さんも抗生剤の点滴治療で治る方もありますが、人工呼吸まで必要とする重症な患者さんもいます。胃潰瘍も内服薬で治療できる方もあれば、潰瘍から出血により、緊急の内視鏡止血と大量の輸血を必要とするショック状の患者さんもいます。これらの患者さんでは、①救急外来での迅速な診断と処置、②専門科による早期の根本的医療、そして③処置後の安定化の3つが必要となります。3つ目の処置後の安定化には、頻回のバイタルサインの測定を行い、状態変化時には昼夜を問わず迅速な対応が必要です。それには24時間の絶え間ない看護の目とモニターによる監視、緊急時対応に必要な機器が揃っている病棟が必要です。それが集中治療室です。当院には集中治療室は以前から4床ありました。しかし重症患者さんが重なると集中治療室がすぐ満床になり、本来集中治療室に入るべき患者さんが入れなくなることも頻回にありました。今回の増床により、その状況は改善されます。また当院は災害拠点病院でもあり、この増床は災害時での患者収容においても心強いものです。救急部としては看護部、専門各科と協力のもと、今後より積極的に重症患者さんへの対応を行い、地域の皆様に安心を提供できるように尽力したいと思っています。

### 医療安全推進週間 市民公開講座

#### 「さいごまで 自分らしく生きる」

開催日：令和元年11月27日（水）14:00～15:00

（受付開始13:30～ 於 災害医療研修棟1F 健診センター受付横）

参加費・駐車料金：無料

開催場所：和歌山ろうさい病院 災害医療研修棟 4階多目的共用室

講演：「人生の最終段階における医療・ケアの意思決定について」

和歌山県福祉保健部 健康局医務課地域医療班 副主査 岡田 翔 先生

## 令和元年 10 月新任医師紹介



はせ ともか 先生  
長谷 朋香 先生

小児科医師

子供たちが笑顔になれるよう、診療していきたいと思います。よろしくをお願いします。



とすじ ひさのぶ 先生  
塔筋 央庸 先生

泌尿器科医師

10月よりお世話になります塔筋央庸と申します。ろうさい病院で活躍できるよう日々精進して参りますので宜しくお願い致します。

## 摂食嚥下サポートチームのご紹介

第二耳鼻咽喉科部長  
SSTチェアマン

小上 真史

みなさん、食べることは好きですか？食欲は人間の3大欲求の一つであり、さらにその中でも年齢の影響を最も受けにくい欲求です。人間にとって大事な食べること。それが障害された方々を対象に活動しているのが、SST: Swallowing Support Team、摂食嚥下サポートチームです。

SSTは医師、看護師、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、放射線技師、事務方で構成されています。嚥下は毎日のことですから、家族、看護師、言語聴覚士の力が大きいです。嚥下障害は複雑ですが、医師ではなく、家族、看護師、言語聴覚士が直接状態を改善させることができる数少ない疾患でもあります。

SSTの活動で最も大事なことは、食べられるかもしれない方を見つけ出し、食べたいという本人の意欲、食べさせてあげたいという周りの願いを可能な限り叶えてあげることです。しかし、嚥下はほとんどが反射運動ですから、簡単にはいきません。しかし、口腔ケア、嚥下リハ、体位調整、食事形態調整などで、摂食状況を改善できることがあります！

しかし、食べたくない方、嚥下が不可能な方はいます。その場合、代替栄養を提案するのも我々の仕事です。食べたい方には積極的に経口摂取を試みますが、そうで無い方には強制はしません。大事なことは患者や家族に情報提供を行い、その上で希望にできるだけ添うことであると考えています。

最後に、SSTの活動を紹介します。診察は、毎週月、水（院内のみ）、金曜日に行っています。初回は全員に耳鼻科外来でVE（嚥下内視鏡検査）を施行します。また、毎週月曜日には症例検討、木曜日にはVF（嚥下造影検査）を行っています。対象は嚥下障害が疑われる全ての方で、意思疎通が難しい方でも可能な限り診察いたします。

本年4月に発足したまだまだ未熟なチームですが、熱意や誠意をもって対応いたします。皆様のご協力を仰ぎながら、食べたいけど食べられない人を少しでも減らしていけたらと思います。よろしくをお願いします！

# 「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

## 佐谷 医院

診療科目 内科、循環器内科

住 所 〒640-0103 和歌山県和歌山市加太1175-11

電 話 073-459-0563



院長 さたに 佐谷 おさむ 修 先生



佐谷医院は平成22年1月1日、和歌山市加太に開設されました。佐谷先生は循環器専門医として19年間、カテーテルやペースメーカー治療などを行ってききましたが、動脈硬化発症前の一次予防に携わりたいと思い、故郷のクリニックを継承されました。開設後は高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病の予防・管理・治療をはじめ、内科全般を幅広く診察されています。

また、予防接種・健康診断・健康相談・往診（在宅医療）も行っており、地域の皆さまの健康を守る家庭医を目指して日々尽力されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、かかすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

佐谷医院 診療時間	月	火	水	木	金	土	日
	午前 (9時～12時)	○	○	○	○	○	○
午後 (17時～19時)	○	休	休	休	○	休	休

休診日：日曜・祝日

# 和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和元年11月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	松本 怜佳	三長 敬昌	山本 昇平	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	-	
		⑭番	梶本 賢義	(午前)神崎 和紀 (午後)中谷 公美子	休診	梶本 賢義 神崎 和紀	梶本 賢義	
脳神経内科	A	⑭番	-	-	休診	梶本 賢義 神崎 和紀	-	
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	(午前)大岩 健洋 (午後) -	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	当番医	細 隆信	庄野 剛史	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	当番医	
消化器内科	B	⑪番	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	-
		⑫番	与田 武徳	津田 郁久	加治 汐梨	垣本 哲宏	内視鏡センター診 与田 武徳	
		⑬番	玉井 秀幸 (肝臓内科)	休診	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	
循環器内科	A	⑧番	有田 祐	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	火・木
		⑨番	当番医	-	当番医	-	当番医	
小児科	C	⑨番	上田 美奈	上田 美奈	大元 浩明	小森 有紀	上田 美奈	-
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	長谷 朋香	長谷 朋香	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	-	大元 浩明	上田 美奈	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	大元 浩明	上田【予防接種】	長谷 朋香	小森 有紀	長谷 朋香	
外科	B	⑦番	小林 康人	坂口 聡	岩橋 誠	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	山本 基	清水 敦史	坂口 聡	胃・大腸・食道 岩橋 誠	清水 敦史	
		⑨番	-	-	-	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	青椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	岩橋 弘樹	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	大西 麻紀子	中村 憲太	山東 茂樹	大西 麻紀子	山東 茂樹	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	
		⑨番	-	岩橋 弘樹	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週】 藏本 伸生 【第2・4週】 田中 克典	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	-	辻 栄作	-	林 宣秀	
		⑭番	小山 佳輝	-	小山 佳輝	-	辻 栄作	
		救急特種	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休診	当番医 (呼吸器・乳腺外科)	玉置 剛司(午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	休診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	丸山 希実子	下松 達哉	火
		②番	川口 亜美		川口 亜美	丸山 希実子		
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	塔筋 央鷹	休診	鈴木 淳史	休診	水・金
		②番	塔筋 央鷹	梅本 秀俊	梅本 秀俊	休診		
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	中田 久実子	当番医	中田 久実子	火・木
		⑫番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑬番	谷本 敏	尾谷 功	竹中 由夏	尾谷 敏	尾谷 功	
		午後 予約	-	-	-	母親教室 (予約制)	重根 光(午後) 再診のみ	
眼科	D	⑤番	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳	休診	(午前)芦田 淳	月・木
		⑥番	二出川 弘樹	二出川 弘樹	二出川 弘樹		第1週のみ (午後)三村 治 (午後)二出川 弘樹 第1・3週 コンタクト(予約)	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	-		-	-	-	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-	
放射線科	D	2診	当番医	峠 康	-	-	-	-
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸		
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑫番	-	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希実子	-	-
		-	-	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子			
専門外来	健診センター(予約制)	禁煙外来(1400~1430)	庄野 剛史	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-
		肥満外来(1500~1600)	中 啓吾	-	-	肥満外来(1500~1600) 中 啓吾		

(注1)

- 1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 2.呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 3.母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 6.糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- 8.お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
- 9.各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 10.整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 11.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。  
 ※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。  
 《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》  
 【予約専用電話】 073-451-3186